

2024  
8.7 (水)12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_2UPJl3Q3SueXg\\_RnmjO9iA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_2UPJl3Q3SueXg_RnmjO9iA)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# はたらく女性に聞いてみた —インタビューシリーズからの知見—

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS コーディネーター)



## Key Words

ジェンダー

女性活躍

男女共同参画

## 室賀 貴穂 准教授

経済学研究院 経済工学部門



東京大学大学院経済学研究科にて博士号を取得し、労働参加・高齢化・教育・結婚・ジェンダーなどの私たちの生活に密接にかかわるテーマについて労働経済学の観点から研究を進めております。2020年4月に九州大学大学院経済学研究院に講師として着任し、2023年4月より、九州大学大学院経済学研究院 准教授を務めております。これまでに、東京大学大学院経済学研究科 特任研究員、日本学術振興会 特別研究員 (DC2)、経済協力開発機構 (OECD) Trainee、アジア開発銀行 (ADB) 外部コンサルタント、ゴールドマンサックス証券株式会社 Seasonal Analyst、経済産業研究所 プロジェクトメンバー、津田塾大学学芸学部 非常勤講師、成城大学経済学部 非常勤講師として働いた経験がございます。現在、東京経済研究センター (TCER) フェロー、早稲田大学現代政治経済研究センター 特別研究員を兼務しております。

インタビューシリーズ「はたらく女性に聞いてみた」では、各業界の第一線で活躍する女性の皆様から、女性活躍の方法についてお考えを伺い、社会全体が女性活躍に対する理解を深めることを目的として活動を行なっております。インタビューでは、女性として働くことの苦労や、キャリア形成に役立ったと考えられる要因、そして働く女性へのメッセージなどをお聞きしています。さらに、労働経済学の観点から、女性活躍の現状に関する各種政府統計や最新の研究動向を紹介し、各業界の状況に照らし合わせて議論を行っています。今回のセミナーでは、こうした活動を通じて得た知見についてお話しさせていただきます。

2023

8.21 (水)

12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Lv-N0h59Rva15C8F8zB\\_tQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Lv-N0h59Rva15C8F8zB_tQ)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# 電気めっき法を用いた 機能性金属材料の開発

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS コーディネーター)



## Key Words

電析 (電気めっき)

金属材料

ナノ材料

磁性材料

電極触媒

高強度材料

熱電変換材料

**佐伯 龍聖** 助教

九州大学 工学研究院 材料工学部門

私は福岡県出身で (1995 年生まれ)、福岡県立筑紫高等学校を卒業しました。高校卒業後は、長崎大学工学部に入学し、化学や材料科学について学びました (2014 年 4 月~2018 年 3 月)。その後は、長崎大学の大学院に進学し、電析法を用いた機能性金属材料の開発に関する研究に取り組みました (2018 年 4 月~2023 年 3 月)。その結果、2023 年 3 月に博士 (工学) を習得し、大学院を修了しました。博士課程在学中は、日本学術振興会特別研究員 (DC1) に採択されておりました。大学院修了後は、九州大学大学院工学研究院の材料工学部門の助教に採用されました (2023 年 4 月~現在)。現在は、機能性金属材料だけでなく半導体材料 (熱電変換材料) に関する研究にも取り組んでいます。

電析 (電気めっき) 法は、金属などの素材の上に、ニッケルや銅・クロム等の異種金属被膜を形成する表面処理技術の 1 つです。材料の耐食性や硬度・耐摩耗性等を向上させることができ、長寿命化につながります。また、他の表面処理技術とは異なり、高温・高真空環境を必要とせず、低コストで簡便に金属膜を作製できる点も強みです。さらに、電析過程で二酸化炭素等の温室効果ガスを排出しない点でも環境に優しい技術です。本セミナーでは、この電析法を表面処理技術として用いることにとどまらず、めっき物自体を機能性金属材料 (磁性材料・電極触媒材料・高強度材料等) として応用することを目指した研究について紹介したいと思います。

2024

8.28 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Ig884IIUSzGXH2WpHZY6-Q](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Ig884IIUSzGXH2WpHZY6-Q)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# 人工知能を用いた医療データ解析について ～様々な事例のご紹介～

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS コーディネーター)

3 すべての人に  
健康と福祉を9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう11 住み続けられる  
まちづくりを

## Key Words

人工知能

深層学習

医療データ

ヘルスケア

医療機器

診断予測

## 新岡 宏彦 教授

九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 健康医療 DX 推進部門

大阪府出身で、2009年に大阪大学にて工学の博士号を取得しました。その後、大阪大学 ナノサイエンスデザイン教育研究センター 特任助教 (2009 - 2012)、大阪大学 大学院基礎工学研究科 機能創成専攻 生体工学領域 助教 (2012 - 2017)、大阪大学 データビリティフロンティア機構 特任准教授 (2017 - 2022)、大阪大学、情報科学研究科 情報数理学専攻 特任准教授 (2022 - 2024) を経て、2024年2月に九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 健康医療 DX 推進部門の教授として着任いたしました。主な研究テーマは「人工知能を用いたバイオメディカルデータ解析」で、先端医療計測デバイスと人工知能を用いた研究や医師の負担を軽減する人工知能の研究に興味があります。これまでに、コニカミノルタ 科学技術振興財団・日本生体医工学会 大会奨励賞、第八回風戸研究奨励賞、第35回応用物理学会論文奨励賞、大阪大学 総長奨励賞を受賞しました。

人工知能技術の発展により、CT 画像、MRI、エコー画像、病理画像など、様々な医療画像データに対する自動診断予測が可能になってきました。自動診断予測により、医師の見落としリスクや負担を軽減することが可能になります。体に身につけるウェアラブルデバイスでヘルスケアデータを取得し、AI を用いて個人の状態を自動的にモニタリングする技術も開発が進んでいます。さらに、近年の ChatGPT に代表されるような大規模言語モデルの登場により、様々な医療データに対して、人工知能が言語による説明や提案を行うようになってきました。医師と人工知能が対話し、意思決定を行う未来が近づいていると感じます。本セミナーでは上記について事例を紹介しつつ解説します。